

令和5年度 第1回安曇野市スポーツ推進委員会全体会議 会議概要

| | | |
|--|----------|--|
| 1 | 委員会名 | 安曇野市スポーツ推進委員会 |
| 2 | 日 時 | 令和5年4月4日(火) 午後7時00分から午後8時20分まで |
| 3 | 会 場 | 安曇野市市役所 4階 大会議室 |
| 4 | 出席者 | (豊科地域) 望月(健)、逢澤、石川、真島、和田 (穂高地域) 真嶋、二見、巢山、越原、蓮井 (三郷地域) 松田、布山、久根下、岡里、齋藤、 (堀金地域) 下川、浅野、加々美、古畑、一志、 (明科地域) 丸山(繁)、丸山(俊)、小林、織田、 ※敬省略 ※出席委員総数：24人 |
| 5 | 欠席者 | 望月(武)、細野、丸山(美)、井澤、遠藤、大月 |
| 6 | 市側出席者 | スポーツ推進課長(大月) スポーツ推進担当係長(小平) スポーツ推進担当(山田・廣田) |
| 7 | 公開・非公開の別 | 公開 |
| 8 | 傍聴人 | 0人 記者 0人 |
| 協 議 事 項 等 | | |
| 会議の概要 (1) 開会 (2) あいさつ (3) 令和4年度 事業報告(スポーツ推進委員、安曇野市) (4) 令和4年度 会計報告 (5) 令和5年度 事業計画(スポーツ推進委員、安曇野市) (6) 協議事項 (7) その他(質疑等) | | |
| ※配布資料 <ul style="list-style-type: none">・ 会議次第・ 令和4年度 長野県スポーツ推進委員協議会事業報告・ 令和4年度 スポーツ推進委員表彰者名簿・ 令和4年度 事業報告(スポーツ推進課)・ 令和4年度 スポーツ推進委員会会計報告・ 令和5年度 長野県スポーツ推進委員協議会 事業計画・ 第27回 長野県スポーツ推進委員協議会 女性委員会研修会 開催要項(案)・ 令和5年度 スポーツ推進委員 表彰基準・ 令和5年度 事業計画(案)(スポーツ推進課)・ 令和5年度 長野県スポーツ推進委員研究協議会 開催要項(案)・ 令和5年度 長野県スポーツ推進委員研究協議会 安曇野大会 予算(案)・ 令和4年度 長野県スポーツ推進委員研究協議会(飯田) 会計報告・ スポーツ推進委員名簿・ 令和5年度 商工観光スポーツ部スポーツ推進課推進担当職員名簿 | | |

(3) 事業報告

① スポーツ推進委員の事業報告

○全国、関東、県

- ・令和4年5月21日に信州スカイパークで行われた新任スポーツ委員研修には全県から16名の参加があった。
- ・6月19日に女性スポーツ委員研修が佐久穂町で行われた。
- ・10月29日に飯田市で長野県スポーツ推進委員研究協議会が行われ、325名の参加があった。そのうち16名は安曇野市からの参加であり、令和5年度に安曇野市で開催の研究協議会に向けた視察を兼ねていた。参加した委員には感謝申し上げる。

○安曇野市

- ・6月26日の安曇野市スポーツ推進委員新任研修会には7名参加した。
- ・9月3日の安曇野市スポーツ推進委員研修会は三郷地域主催で行われ、北野建設のスキージャンプ競技者であるイワブチ氏を講演に招いた。
- ・代表者会議は7、9、11、12、3月に開催された。令和5年度はさらに頻繁に開催されることが予想されるため、ご協力を願いたい。
- ・関東スポーツ推進委員協議会表彰で、三郷の布山委員が受賞した。

② 安曇野市の事業報告

- ・第8回信州安曇野ハーフマラソンが開催され、5759人の参加を賜った。
- ・市民スポーツ祭を、コロナ対策を講じながら開催した。開会式、イベントを中止し競技は5種目中止となったが、12種目については実施した。
- ・コーディネーショントレーニング定着事業では、キッズ教室に園児35名、小学生34名の参加があった。なお応募は130名あり、コーディネーショントレーニングの広がりを感じる結果となった。
- ・4月にマウンテンバイクコースが完成した。
- ・激励金の交付事業に関して、前年に比較し申請が36件増加した
- ・スポーツ教室は2歳～成人向けの教室を計14教室開催した。
- ・体力測定を実施し51名の参加を賜った。推進委員の尽力に感謝する。

(4) 会計報告

- ・収入は主に、委員から徴収した会費（慶弔費）、ユニフォーム補助のための市からの補助金。研修会や体力測定事業への県からの補助金である。

(5) 令和5年度事業計画

① スポーツ推進委員の事業計画

- ・4月18日に予定されている第1回理事会にて、10月実施予定の研究協議会のより具体的な計画案を出していく。また、8月22日の第2回理事会は理事に安曇野市へ来てもらう。
- ・令和5年8月22日に県スポーツ推進委員研究協議会実行委員会を行い、10月のスポーツ推進委員研究協議会開催に向けての打ち合わせを行う。
- ・5月20日には新任スポーツ推進委員研修会が開かれる。過去の研修会では、新任者よりも経験者の参加が多かった印象がある。次年度の研修においては、新任者は積極的に参加するようにお願いしたい。
- ・5月13日に須坂市にて女性スポーツ推進委員研修会が開催予定。穂高で予定しているロゲイニングに先駆けても、男女問わず多くの委員の参加を期待したい。4/21申し込み〆切となっているため、参加希望者は4/14迄に市の事務局へ連絡をお願いしたい。参加の意思確認やリマインドはしないため、委員におかれては申し込み忘れがないようお願いしたい。
- ・6月9～10日には、関東スポーツ推進委員研究大会群馬大会が開かれ、功労者表彰が行われる予定であるため、表彰の対象となっている委員は参加をお願いしたい。
- ・リーダー養成講習会の参加者を9月10日の中心会議で報告するため、参加の意思のある委員は報告をお願いしたい。
- ・関東スポーツ推進委員協議会の表彰について、受賞候補は安曇野市内で2名いるが、推薦枠に限りがあるため、代表者会議にて二見委員に決定する。
- ・全国スポーツ推進委員連合の表彰については、関東スポーツ推進委員協議会で表彰された者が対象となる。安曇野市内で受賞要件を満たしている者も増えてきているため、推薦をしていく予定。

② 安曇野市の事業計画

- ・第9回信州安曇野ハーフマラソンを6月4日に開催する。
- ・市民スポーツ祭の開催。施設の確保ができないため総合開会式は中止する予定である。
- ・アウトドアスポーツ体験事業として、カヌーやSUP、ポールウォーキングなどのアウトドアスポーツ教室の開催を予定している。4/27にはポールウォーキング教室を開催する予定である。
- ・昨年に続き、体力測定の開催を予定している。推進委員の協力を願いたい。

(6) 協議事項

① 安曇野市スポーツ推進委員研修会（豊科地域担当）

- ・例年、市独自の研修会を行っており、県からの補助も出ている。令和5年度は豊科地域が担当となっており、今後の方針を決めなければいけないが、県の研究協議会との折り合いもあるため、今回の会議では協議を省く。

② スポーツ推進委員研究協議会について

- ・令和5年10月21日ANCアリーナでの開催を予定。
- ・推進委員、市、地元スポーツクラブの三者共催での実施を検討している。
- ・他市の応援の申し出もあるが、極力安曇野市独自でコンパクトに企画していく。
- ・当日のプログラムは、受付→アトラクション→開会式→表彰式→基調講演→分科会（3講座）といった流れを想定している。分科会は、天候やスタッフ数に左右されない室内での開催を予定している。
- ・参加者数については、他市の事例も考慮して350人程度を想定。会場に常設の椅子は180脚程度であるため、他施設からの貸与を検討している。
- ・会場は前日から予約を入れて準備を行う予定。企画、準備、運営については推進委員の協力を願いたい。

(7) その他（質疑等）

① リンク登録について

- ・スポーツ推進委員としてリンクに登録した。スポーツイベント等の際に推進委員に協力の依頼があるかもしれないため協力を願いたい。

② スポーツ推進委員の口座管理について

- ・スポーツ推進委員の口座について、今までは市で通帳を管理していたが、今後推進委員の中で事務、会計担当を任命して管理していくことも検討したい。今後の会議の中で協議を進めていく。

③ 慶弔費について

- ・例年、年度初めに会費（慶弔費）として一人1,000円ずつ徴収している。今後予定されている会議の際に持参を願いたい。

④ 新任スポーツ推進委員研修会の申し込みについて（質問）

質問（委員）：5月20日開催予定の新任スポーツ推進委員研修会はどのように申し込みを行えば良いか。

回答（会長）：体育センターへの直接の申し込みとなる。詳細の通知がまだ届いていないため、通知があり次第の申し込みとなる。

⑤ スポーツ推進委員研究協議会への意見について（質問）

質問（委員）：委員から募った意見はどこでどのように協議するのか

回答（会長）：今後予定している会議にて都度協議する。代表者会議で審議するにあたっては、あらかじめ地域代表者にて意見を集約してから会議にかけてもらいたい。

⑥ 慶弔費について（質問）

質問（委員）：会計上、繰越額が生じており、あまり多額の残余が出るのは望ましくない。慶弔費については毎年徴収せずとも、繰越金で運用できるのではないか。

回答（会長）：現状、県や市からの補助金があるが、今後補助が無くなったり減額したりすると、繰越が生じるかは分からない。補助が無くなったり減額になった段階で慶弔費の要否について、会議等で検討することはできる。

回答（市）：慶弔費を徴収しなければ運営ができなくなる状態ではないため、今後の会議の中で徴収の要否を検討する。その間、慶弔費の徴収は行わない。